社会医療法人二本松会

かみのやま病院

理念

人間愛にもとづき個人を尊重する医療を実践します。

基本方針

1. ご利用者本位の医療を通して地域社会に貢献します。
2. 人材の育成を図り、働きがいのある職場をつくります。
3. 安定した経営を行います。

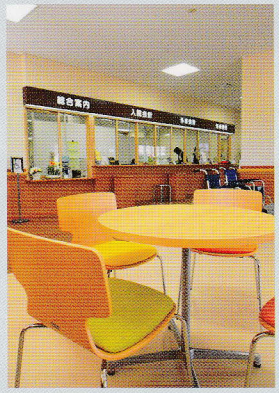
沿革

年　月	事　項
1922年(大正11年)	二本松医院開業(現山形さくら町病院)
1956年(昭和31年) 3月	26日 医療法人二本松会設立
9月	17日 医療法人二本松会上山病院開設(98床)
10月	健康保険法、生活保護法、精神衛生法による指定医療機関
12月	基準看護・基準給食による指定医療機関 80床増床(178床)
1958年(昭和33年) 6月	94床増床(272床)
7月	結核予防法による指定医療機関
10月	基準看護3類、基準給食の承認
1961年(昭和36年) 4月	第1回院内看護研究発表会
1962年(昭和37年) 6月	医療社会事業係(PSW)新設
1963年(昭和38年) 9月	基準寝具の医療機関指定
10月	院外作業療法(外勤)開始
1964年(昭和39年) 3月	120床増床(392床) 患者自治会(つくし会)、 退院者クラブ「男子金曜会」発足 病棟家族会発足
1966年(昭和41年) 4月	上山病院家族会(あすなろ家族会)発足
1967年(昭和42年) 3月	退院者クラブ「女子こだま会」発足
5月	山形病院が法人組織となり上山病院と共に医療法人に一本化
1969年(昭和44年) 4月	生活療法委員会発足
1973年(昭和48年) 10月	閉鎖病棟の開放化はじまる
1975年(昭和50年) 1月	基準看護2類承認
2月	院内売店設置
1976年(昭和51年) 10月	共同住居(ひまわりの家)開設 三者連絡会発足(上山市福祉事務所・上山市環境保健課・上山病院)
1978年(昭和53年) 5月	基準看護1類承認
1980年(昭和55年) 1月	退院者クラブ「金曜・こだま会」発足
1981年(昭和56年) 4月	新病棟完成(第1次整備計画)285床 旧病棟(175床)合計460床
1982年(昭和57年) 9月	基準看護特1類承認
1983年(昭和58年) 4月	療養生活会議発足 アルコール専門病室設置
1984年(昭和59年) 10月	共同作業所(こまくさ寮)開設
11月	病院祭日曜模擬店開催
12月	「まつかぜの家」開設
1985年(昭和60年) 3月	職親会「心和会」発足

年　月	事　項
1986年(昭和61年) 7月	訪問看護開始
1987年(昭和62年) 4月	日曜診療開始
6月	共同住居(すずらんの家)開設
1988年(昭和63年) 11月	共同住居(弁天の家)開設
1989年(平成元年) 2月	思春期病室設置
12月	老人専門外来設置
1993年(平成5年) 6月	OTセンター開設、精神科作業療法開始
1995年(平成7年) 6月	新看護体系3:1(B)看護補助加算13:1承認
7月	適時適温給食開始
9月	精神科デイケアセンター(むづれは)開設
1996年(平成8年) 5月	新看護体系3:1(A)看護補助加算10:1承認
1997年(平成9年) 4月	新病棟完成(第2次整備計画)175床 旧病棟(285床)合計460床
6月	老人性痴呆疾患療養病棟(A)承認
11月	精神科急性期治療病棟(A)承認
1999年(平成11年) 10月	グループホーム(あすなろの家)開設 居宅介護支援事業所開設
2000年(平成12年) 4月	老人性痴呆疾患デイケア(あららぎの里)開設 訪問看護ステーション(あららぎ)開設 定床460床より426床に変更
5月	精神療養病棟(I)承認
12月	山形県精神科救急移送医療事業開始 (応急入院指定病院)
2004年(平成16年) 5月	老人性痴呆疾患治療病棟IIへ変更、承認
2005年(平成17年) 7月	山形病院改築に伴う患者転院のため531床に変更
2006年(平成18年) 4月	指定障害者福祉サービス事業者の指定 (あすなろろ家) 精神病棟入院基本料15:1 看護補助加算10:1承認
7月	老人性痴呆疾患治療病棟Iへ変更、承認
2007年(平成19年) 9月	協力型臨床研修病院の指定
2008年(平成20年) 4月	山形さくら町病院改築完成に伴う患者転院により424床に変更
2009年(平成21年) 3月	病院機能評価Ver5.0認定取得
2011年(平成23年) 4月	社会医療法人 認定
2017年(平成29年) 4月	「上山病院」から「かみのやま病院」に 病院名称を変更 病院改築し、354床に変更 介護老人保健施設「かなやの里」を新設(入所60床)

1 外来　専門外来

学校へ行きたくない、会社へ行きたくない、人つきあいがいやだ、子育てがたいへんだ、自分は嫌われているのではないか？なにもやる気がしない、季節感が感じられない、生きている実感がない、眠った気がしない。なにかとストレスの多い社会で"こころ"の健康を保つには、難しい時代となってきています。こんな世相を反映して、精神科外来にはいろいろな"こころ"の悩みで相談にいらっしゃる方が多くなりました。



"こころ"の悩みの治療でいちばん大切なもの。それは"あたたかな人間関係"からとかみのやま病院は考えます。様々なこころの病気・ご家族の相談には、医師、看護師の他、精神保健福祉士、臨床心理士、作業療法士、管理栄養士による支援も行っています。　また、もの忘れ（認知症）・思春期・アルコール依存症においては専門外来を設けております。

診察までの流れ

当院ではスムーズな診察を行える様、予約診療を行っております。初めての方でも予約をお取りいただけます。各種専門外来もご予約、ご相談をお受けしております。「初めての受診」と伝えていただければ、受付担当のスタッフが対応させていただきます。

初めて受診される方

専門外来
もの忘れ（認知症）／アルコール／思春期

↓

医療福祉相談室
医療福祉相談室にて専門外来のご予約をお取りいたします。（内線269番）

再診察の方

精神科一般
うつ病／不眠症／不安　等

↓

外来受付
外来受付にて初診のご予約をお取りいたします。

※必ず、保険証をご持参ください。医療症、受給者証、お薬手帳をお持ちの方は一緒にご持参ください。他の医療機関を受診されている方は「紹介状」をお持ちいただくと診療がスムーズです。予約を変更したい方は外来にて承りますので「予約の変更」とお伝えください。

まず「かみのやま病院」にお電話ください

☎023-672-2551（代表）
月曜日～金曜日8:30～17:00（祝日は除く）

2 精神科急性期治療病棟

精神症状が悪化し、集中的な治療と保護を必要とされる方が入院される病棟です。60床のうち個室20室を備え、患者さんの症状や状態に応じた治療・看護・リハビリテーションなどを行い、3ヶ月以内での回復・退院をめざします。

自然な光が入る落ち着いた療養環境でお過ごしいただけます。

食　堂

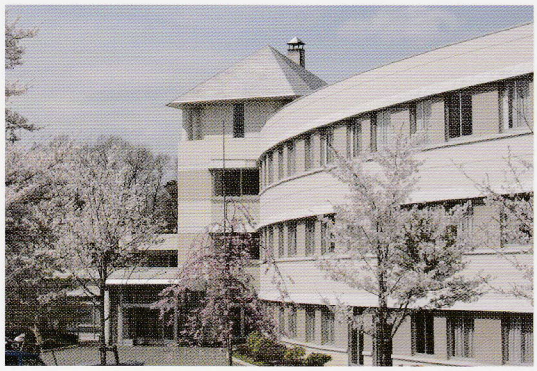
診察室

談話室

廊　下

3 認知症治療病棟

認知症に伴って現れる精神症状や行動障害が問題となり、ご家族での介護が困難となった患者様を受け入れ、生活機能回復訓練と、様々な専門職がチーム医療・ケアを提供しながら改善をはかり、社会復帰をめざす病棟です。また、ご家族様に対する介護上の相談や支援も行っています。



4 精神科一般病棟

主に、中・長期にわたる療養を必要とする患者様の治療を行いながら、身体的ケアや精神的ケアが必要な患者様に対し、個別的な関わりを重視した治療・看護を展開しています。また、多職種と連携しながら、作業療法やSSTなどのリハビリテーション活動を通し、社会復帰・社会参加に向けた援助を行っています。

5 医療福祉相談室

病気になったことから起こる療養中の不安や悩み、各種社会福祉・社会保障制度、介護保険制度の活用、医療費、社会資源の活用、人権擁護、医療安全に関すること等、その他少しでも安心して治療が続けられるように、専門の精神保健福祉士（ソーシャルワーカー）がご相談に応じます。また、退院後の社会資源として、当院のデイケア・介護老人保健施設や他関係機関、関連施設などの紹介や患者支援体制の相談窓口も行っております。

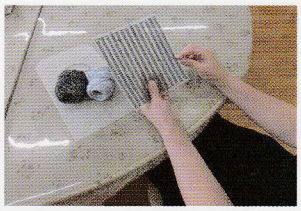
6 精神科デイケアセンター「むづれは」

デイケアは、外来治療とリハビリテーションの場です。退院後も自宅や地域で安定した生活を送り、社会復帰に向けた準備ができるように様々な活動に取り組んでいます。当デイケアでは利用される方が自分のペースで少しずつ取り組めるような居場所づくりと、社会参加や仲間との交流の場を提供できるように努めています。
「将来働きたい」「閉じこもらないようにしたい」などの利用者が描いている希望に近づけるようサポートいたします。

7 重度認知症患者デイケアセンター「あららぎの里」

もの忘れ?いつもと違う行動！「もしかしたら認知症…」
心配されている方、ご家族の方、ご相談ください。外来での治療も含め、スタッフがお手伝いさせて頂きます。医療保険適応のため介護保険に関係なくご利用できます。
在宅で長く生活するための、脳機能・身体・心のリハビリプログラムでお待ちしています。

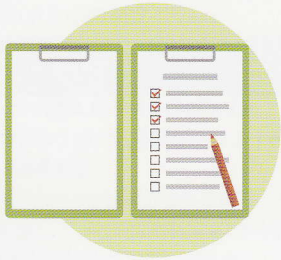
8 作業療法(OT)



作業療法とは、人が仕事・日常生活・遊び・余暇の中で行う様々な作業活動を用いて、精神機能・対人関係能力・作業能力などの向上を図り、その人にとってより良い生活が送れるように援助を行うリハビリテーションの方法です。
生活の中で起こる様々な困難、悩みに対処したり、自分の希望を叶えようとする際に、作業療法士は患者様と目標を決め、患者様の希望に沿ったリハビリを心がけながら、その目標を達成する手助けをしています。当院では自然豊かな環境の中で四季を感じながら、創作活動・書道・園芸・生け花・スポーツ・体操・カラオケなどのリハビリに取り組んでいます。

9 精神科訪問看護

病院を退院された後、または外来通院をされている方が、安心して治療を継続しながら生活を送ることが出来るよう看護師・精神保健福祉士などの専門職が、ご自宅に伺って日常生活への支援などを行っています。
入院中の患者さまには、退院後も長く安定した生活を継続していただけるように、退院前訪問看護も行っています。
具体的な支援内容として次のような支援で患者様を幅広くサポートしております。



- 病状の観察　● 服薬管理　● 通院継続支援　● 病気についての不安や悩みの相談
- 食生活・環境整備・金銭管理・日課・人間関係・余暇の過ごし方など日常生活に関する支援などや、ご家族が楽になれる様なサポート。

10 訪問看護ステーション「あららぎ」

「“こころ”元気　安心できるを念頭に」

私たちはご自宅での生活がより安心して送れるように、まごころの看護をこころがけております。どんな障がいや病気をもっていても、できる限り在宅で暮らして行きたいとの思いを大切に、訪問看護(介護保険・医療保険)を通して在宅療養生活を援助しています。また、地域の方々により一層安心して生活していただけたらの思いから365日24時間電話でご相談をお受けしております。

TEL(直通)023-672-2556

11 かみのやま病院介護支援事業所

介護支援専門員(ケアマネージャー)が介護が必要な方の相談に応じ、介護保険や地域の福祉サービスが適切に利用でき、住み慣れた自宅や地域で日常生活を送れるよう支援いたします。また、ご家族の方の介護に関するご相談もお受けいたします。お気軽にご相談ください。

- 介護サービス計画作成
  ご利用の皆さまのご要望をお聞きし、心身の状態にあった介護サービスを計画いたします。

地域に根差した医療を展開

医療

急性期・回復期・慢性期の
入院や外来診療を提供します。

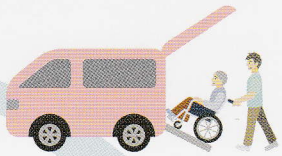
かみのやま病院

老人保健施設 かなやの里

入所・短期入所・通所リハビリ

介護

入所や通所で医療ケアや
リハビリを提供します。



山形さくら町病院

医療福祉相談室
地域医療連携室

住まい

生活の基盤となる
お住まいです。

自宅、グループホーム
共同住居など

居宅介護支援事業所
ケアマネージャー

通所

食事・入浴などの生活支援を
日帰りで提供します。

重度認知症デイケア
あららぎの里

精神科デイケア
むづれは

訪問

生活の場へ訪問し
看護ケアを提供します。

訪問看護ステーション **あららぎ**

精神科訪問看護

生活・就労

生活や就労に関する相談や
支援を提供します。

地域活動支援センター
おーる
就労継続支援事業所
ステップアップ霞城
復務支援プログラム(リワーク)

病院略図

社会医療法人二本松会

かみのやま病院

〒999-3103 山形県上山市金谷字下河原1370
TEL.023-672-2551 FAX.023-673-2156
ホームページ http://kaminoyama.org